## 下水道用設計標準歩掛表(令和6年度版)の改定

新旧対照表

一第1巻 管路一

定趣旨					現			行					改			定
戒指定	(4)	機材	械運転单	単価表						(4)	機械運車	<b>広単価</b> 表	Ę į			
頁の変	棋	機	械 4	ž.	規 クローラ型 排出ガ 値)	格 パス対策型 (第1次基準	適用単価機一2	99	指 定 事 項 機 械 掘 削 工 運転労務数量→1.00	機	<b>人</b>	名	クローラ型 排出	格ガス対策型(第1次基準	適用単位機一2	機 械 掘 削 工 運転労務数量→1.00
	小 型	!バ	ック	ホ ウ	山積 0.08m³/平積 クローラ型 排出ガ	0.06m <sup>3</sup> 「ス対策型(第 2 次基準		- j	燃料消費量→17 機械損料数量→1.78 運転労務数量→1.00	小 型	バッ	クホウ	クローラ型 排出	₹ 0.06m³ ガス対策型(第 2 次基準		燃料消費量→17 機械損料数量→1.78 運転労務数量→1.00
					値) 山積 0.13m <sup>3</sup> /平積 ( クローラ型 排出ガ 値)	0.1m³ 「ス対策型(第 <b>2</b> 次基準	機-1		燃料 消費 量→23 機械損料数量→1.78 運転労務数量→ 0.16				値) 山積 0.13m <sup>3</sup> /平和 クローラ型 排出 値)	(0.1m³ ガス対策型(第2次基準	機一1	機械損料数量→1.78 運転労務数量→ <del>0.16</del> 0.17
	バッ	ツ	ク オ	トウ	排出ガス対策型(第 山積 0.45m <sup>3</sup> /平積・ クローラ型 排出ガ 山積 0.45m <sup>3</sup> /平積・	ン機能付 吊能力 2.9t 5 1 次基準値) 0.35m <sup>3</sup> 又は、 ブス対策型(第 1 次基準値 0.35m <sup>3</sup>	(2) 機一1	3	燃料消費量→5.9 運転労務数量→ 0.16 燃料消費量→8.6	, i	ソク	赤 戊	排出ガス対策型( 山積 0.45m <sup>3</sup> /平利 クローラ型 排出 山積 0.45m <sup>3</sup> /平利	ーン機能付 吊能力 2.9t 第 1 次基準値) { 0.35m³ 又は, ガス対策型(第 1 次基準値 { 0.35m³	) 機一:	燃料消費量→5.9  運転労務数量→ <del>0.16</del> 0.17  燃料消費量→8.6
					排出ガス対策型(第 山積 0.8m³/平積 0.	.6m³ 又は, <sup>「ス対策型(第2次基準値</sup>	()	,	運転労務数量→ 0.16 燃料消費量→15 運転労務数量→0.16				排出ガス対策型( 山積 0.8m³/平積	0.6m³ 又は, ガス対策型(第2次基準値 0.6m³	)	運転労務数量→ 0.160.17 燃料消費量→15 運転労務数量→0.16
	ク ラ	7 J	ムシ	ェル	デレスコピック式 平積 0.4m <sup>3</sup>		機一 1	1 3	燃料 消費 量→15 機械損料数量→1.0	ク ラ	ムシ	エノ			機一	燃料消費量→15 機械損料数量→1.0
	.1. ##1		H	ホウ		「ス対策型(第2次基準	機-2	00	立坑掘削工 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→11	小 型	バッ	クホウ		ガス対策型(第2次基準	機一2	燃料消費量→11
	備考	立坊	1掘削工の	)小型バッ	山積 0.08m³/平積	0.06m³ D運転日当り運転時間は,	4.3 時間とする。	1	機械損料数量→1.78				・ ドックホウ山積 0.08m³	の運転日当り運転時間は,	4.3 時間とする	機械損料数量→1.78 。
		立坊機構	1掘削工の	)小型バッ	山積 0.08m³/平積		4.3 時間とする。 適用単価表	1	機械損料数量→1.78 指 定 事 項	(3)	立坑掘削 機 <b>械運</b> 車 械 2	5単価ま	・ ドックホウ山積 0.08m³		4.3 時間とする 適用単価表	
	(3) 機	立坊 <b>機材</b> 械	抗掘削工の <b>減運転</b> 算	<b>単価表</b> クロー 山積(	山積 0.08m³/平積 ,クホウ山積 0.08m³の	<ul><li>&gt;運転日当り運転時間は、</li><li>格</li><li>型 (第1次基準値)</li></ul>		運転労務 燃料消	機械損料数量→1.78	(3) :	<b>機械運</b> 輸 名	<b>広単価</b> ま クェ 山和	「ックホウ山積 0.08m <sup>3</sup>	の運転日当り運転時間は, 格 怪型 (第1次基準値)		0
	(3) 機	立坊 <b>機材</b> 械	抗掘削工の <b>滅運転</b> 単	が型バッ <b>単価表</b> クロー 山積(	山積 0.08m <sup>3</sup> /平積 - クホウ山積 0.08m <sup>3</sup> の 規 - ラ型 排出ガス対策	D運転日当り運転時間は, 格型 (第1次基準値) 型 (第2次基準値)	適用単価表	運転労務 燃料消 機械損料 運転労務 燃料消	機械損料数量→1.78  指 定 事 項 (数量→1.00 費量→17	(3) :	機械運車	<b>広単価ま</b>	マンテン (マックボウ山積 0.08m <sup>3</sup> (マックボウ山積 0.08m <sup>3</sup> ) 見 ローラ型 排出ガス対3	の運転日当り運転時間は, 格 長型 (第1次基準値) 3 長型 (第2次基準値)	適用単価表	指 定 事 項 運転労務数量→1.00 燃料消費量→17
	(3) 機	立坊 <b>機材</b> 械	抗掘削工の <b>減運転</b> 算	が 単価表 クロー 山積( クロー 山積(	山積 0.08m³/平積  - クホウ山積 0.08m³ ℓ  規  - ラ型 排出ガス対策  - 5型 排出ガス対策  - 7 変 が れば  - 7	遊転日当り運転時間は、   格	適用単価表機-23	運転労務 燃械損料 運転労務 機械損料 運転労務 機械損料	機械損料数量→1.78  指 定 事 項  数量→1.00 費量→17  数量→1.78 数量→1.00 費量→23	(3) :	<b>機械運</b> 輸 名	<b>広単価</b>	模 規 コーラ型 排出ガス対対 責 0.08m³/平積 0.06m コーラ型 排出ガス対対 責 0.13m³/平積 0.1 m コーラ型 排出ガス対対 責 0.28m³/平積 0.2 m	の運転日当り運転時間は, 格 整型 (第1次基準値) 3 模型 (第2次基準値) 3	適用単価表機-23	指 定 事 項 運転労務数量→1.00 燃料消費量→17 機械損料数量→1.78 理械分務数量→1.00 燃料消費量→23
<b>威指定</b> 頁の変	備考 (3) : 機 小型/	立が機材が	抗掘削工の <b>減運転</b> 算	シハ型バッシー <b>単価表</b>	山積 0.08m <sup>3</sup> /平積 - クホウ山積 0.08m <sup>3</sup> の 規 - ラ型 排出ガス対策 2.08m <sup>3</sup> /平積 0.06m <sup>3</sup> - ラ型 排出ガス対策 2.13m <sup>3</sup> /平積 0.1 m <sup>3</sup> - ラ型 排出ガス対策 3.13m <sup>3</sup> /平積 0.1 m <sup>3</sup>	A	適用単価表機-23	運転労務消料 機械損労務消料 機械損費 運転労務消料 機械損 運転労務消	指 定 事 項  数量→1.78  数量→1.00 费量→17  数量→1.78 数量→1.00 费量→23 数量→1.78  数量→1.05 数量→1.05	(3) : 機	<b>機械運</b> 輸 名	<b>広単価</b>	模 規 コーラ型 排出ガス対対 責 0.08m³/平積 0.06n コーラ型 排出ガス対対 責 0.13m³/平積 0.1 m	の運転日当り運転時間は、 格 整型 (第 1 次基準値) 3 変型 (第 2 次基準値) 3 を型 (第 2 次基準値) 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	適用単価表機-23	指 定 事 項  運転労務数量→1.00 燃料消費量→17 機械損料数量→1.78  運転労務数量→1.00 燃料消費量→23 機械損料数量→1.78  運転労務数量→0.160.17

下水道田設計煙淮歩堪志の一部改定 第1巻 等取

71 July 100 100						_,		
改定趣旨		現	行	<u>.                                    </u>		改	定	•
機械指定					(2)機械運転			I
事項の変	機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
更	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型(第 2 次基準値) 山積 0.28 ㎡/平積 0.2 ㎡	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.64	バックホ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 ウ 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28 ㎡/平積 0.2 ㎡	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ <del>1.64</del> 1.50
	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.45 ㎡/平積 0.35 ㎡	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 52 機械賃料数量→ 1.64	バックホ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 対 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.45 ㎡/平積 0.35 ㎡	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 52 機械賃料数量→ <del>1.64</del> 1.50
機械指定	(2)機械運転単価表	<b>3</b>			(2)機械運転	<b>嵐</b> 価寿		
事項の変		規 格	適用単価表	指 定 事 項	機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
更	バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28 ㎡/平積 0.2 ㎡	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.64	バックホ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ <del>1.64</del> 1.50
	(2)機械運転単価表	•			(2)機械運転	<b>単価</b> 寿		
機械指定	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
事項の変 更	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型(第 2 次基準値) 山積 0.28 ㎡/ 平積 0.2 ㎡	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→1.64	バックホ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 ウ 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.2 ㎡	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→1.641.50
	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第 2 次基準値)	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 52	バックホ		機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 52
		山積 0.45 ㎡/平積 0.35 ㎡		機械賃料数量→1.64		山積 0.45 ㎡/平積 0.35 ㎡		機械賃料数量→ <del>1.64</del> 1.50
				機械 賃料数量→1.64	(2) 機球運転			機械資料寮量→1.641.50
機械指定	(2)機械運転単価表		適用単価表		(2)機械運転機械 被 名	単価表	適用単価表	
機械指定 事項の変 更	(2)機械運転単価表	規 格	適用単価表機-28	機械質料数量→1.64  指 定 事 項  運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械質料数量→1.64	(2) 機械運転 機 械 名 バ ッ ク ホ	<b>単価表</b> 規 格 クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊	適用単価表機-28	機械資料数量→1.641.50 指 定 事 項 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械資料数量→1.641.50
事項の変	(2) 機械運転単価表機 械 名 バ ッ ク ホ ウ	規 格		指 定 事 項 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35	機械名	<b>単価表</b> 規 格		指 定 事 項 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35
事項の変更	(2)機械運転単価表 機 械 名 バ ッ ク ホ ウ	規 格		指 定 事 項 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35	機械名	<b>単価表</b> 規 格		指 定 事 項 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35

改定趣旨		現	行	<u>:</u>			改			定	
機械指定	(3) 機械運転単価表		1,1		(3) 機械	<b>三</b> 転単価表				, L	
事項の変	機械名	規 格 適用単価表	指足	定 事 項	機物		規格	適用単価表		指定	事項
更	油圧ショベル装着ガバイブロハンマ杭打機	機 機 機 88.3kN (普通型) 49.0kN (低振動型) 機 49.0kN (低振動型)	械損料 1 名称→排出 油圧 械 損 料 数 量 →1.64 械 損 料 2 名 称 →油圧: パイ 最大i 油圧 バイ:	ショベル山積 0.5m³/平積 0.4m³ ガス対策型(第 1 次基準値) ショベル山積 0.5m³/平積 0.4m³ ショベル装着式(超低騒音型) ブロハンマ 起振力 88.3kN(普通型) ショベル装着式・可変超高周波型 ブロハンマ 起振力 49.0kN(低振動型)	油圧ショ〜バイブロハ			機-20	燃料消機械損料機械損料機械損料	1 名 称 → 排出力 油圧シ 計 数 量 → 1.641. 2 名 称 → 油圧シ バイフ 最大 起 バイフ	マョベル山積 0.5m³/平積 0.4 (ス対策型(第 1 次基準値) ョベル山積 0.5m³/平積 0.4 50 13 ベル装着式(超低騒音型) ロハンマ 振力 88.3kN(普通型) コベル装着式・可変超高周差 コペル装着式・可変超高周差 プロハンマ 振力 49.0kN(低振動型)
	クレーン装置付トラック	7 4 t級, 2.9 t吊 機-21 燃	転 労 務 数 量 →1.00 料 消 費 量 →19 械 損 料 数 量 →1.06		クレーン装置	付トラック	4 t級, 2.9 t吊	機-21	燃料消	<ul><li>数量→1.00</li><li>费量→19</li><li>数量→1.06</li></ul>	
機械指定	備考 油圧ショベルの損料	はバックホウの損料とする。					バックホウの損料とす	る。			
機械相比事項の変	(5) 機械運転単価表 機 械 名	規格	適用単価表	指定事項	(5) 機械		規	格		適用単価表	指定事項
更	バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1. 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m³/平積 0.2m³ クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2. 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.45m³/平積 0.35m³ クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2. 排出ガス対策型 (第 2 次基準値)	9t 吊 機-28	運 転 労 務 数 量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 38 機 械 賃 料 数 量→1.64 運 転 労 務 数 量→ 1.00 燃 料 消 費 量→ 55 機 械 賃 料 数 量→1.64 運 転 労 務 数 量→1.00 燃 料 消 費 量→96	, м у <i>р</i>	ホーウ	クローラ型 クレーン4 排出ガス対策型 (第2: 山積 0.28m³/平積 0.2 クローラ型 クレーン4 排出ガス対策型 (第2: 山積 0.45m³/平積 0.3 クローラ型 クレーン4 排出ガス対策型 (第2: 排出ガス対策型 (第2:	次基準値) km <sup>3</sup> 機能付 吊能 次基準値) 5m <sup>3</sup> 機能付 吊能	力 2.9t 吊	機-28	運転
	クレーン装置付 ト ラ ッ ク	山積 0.8m³/平積 0.6m³ 4t 級, 2.9t 吊	機-28	機械質料数量→1.64 運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械質料数量→1.23	ク レ ー ン ト ラ	装 置 付	山積 0.8m³/平積 0.6m 4 t 級,2.9t 吊	n <sup>3</sup>		機-28	機械質料数量 $\rightarrow$ 1.641.5 運転労務数量 $\rightarrow$ 1.00 燃料消費量 $\rightarrow$ 35 機械質料数量 $\rightarrow$ 1.641.2

		下水道用設	計標準歩掛表の一部改定	第1巻	管路	工種名管	路施設(開削工法)		
頁	改定趣旨		現	行			改	定	
84	機械指定	II I		Calculation of the Co.		機械運転単価表	100 10		
	事項の変更	機械名	山積 0.13m³ [平積 0.1m³]	適用単価表	指 定 事 項 運転労務数量→0.16 燃料消費量→3.6 機械損料数量→0.16(日)	機械名	山積 0.13m³ [平積 0.1m³]	適用単価表	指 定 事 項 運転労務数量→0.160.17 燃料消費量→3.6 機械損料数量→0.160.17(日)
			クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.28m³ [平積0.2m³] クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準	機-1	運転労務数量→0.16 燃料消費量→5.9 機械損料数量→1.0 運転労務数量→0.16		クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積 0.28m³ [平積 0.2m³] クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準	機-1	運転労務数量→0.160.17 燃料消費量→5.9 機械損料数量→1.0 運転労務数量→0.160.17
		バックホウ	山積 0.45m³ [平積 0.35m³] クローラ型 排出ガス対策型 (第 2 次基準 値)		燃料消費量→8.6 機械損料数量→1.0 運転労務数量→0.16 燃料消費量→15	バックホウ	山積 0.45m³ [平積 0.35m³]       クローラ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)		燃料消費量→8.6 機械損料数量→1.0 運転労務数量→ <del>0.16</del> 0.17 燃料消費量→15
98	機械指定	(4) 機械運転単価表	山積 0.8m³ [平積 0.6m³]		機械損料数量→1.0	(4) 機械運転単価表			機械損料数量→1.0
	事項の変	機械名	規格	適用単価表	指定事項	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	更	バックホウ	クローラ型 クレーン機能 F 能力1.7t 吊 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m³/平積 0.2m³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料 消費 量→35 機械賃料数量→1.64	バックホウ	クローラ型 クレーン機能  F能力1元  吊 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28m³/平積 0.2m³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→35 機械賃料数量→ <del>1.64</del> 1.50

		下水道用設計標準歩掛表の一部の	女定 第1巻 管路	工種名 管路施設(推進工法)	
	改定趣旨	現	行	改	定
	適用拡大による改定	2. 施工步掛 (1) 小口径泥水,小口径泥土圧 表-53-1	【DGD20340】【DGD20345】 <b>坑口工歩掛表</b> (1 箇所当り)	2. 施工步掛 (1) 小口径泥水,小口径泥土圧 表-53-1 坑	【DGD20340】【DGD20345】 <b>ロエ歩拗表</b> (1箇所当り)
	,_	種 目 単位 250 300 350	呼 び 径 (mm) 0 400 450 500 600 700 摘 要	種 目 単位	呼 び 径 (mm) 350   400   450   500   600   700   摘 要
		普 通 作 業 員 人 0.6 0.7 0.8	0.9 0.9 1.0 1.1 1.3	普 通 作 業 員 人 0.6 0.6 0.7	0.8 0.9 0.9 1.0 1.1 1.3
		止     水     器     組       鋼     材     溶     接     工     m     2.4     2.7     2.9			1 2.9 3.2 3.5 3.7 4.0 4.6
		鋼 材 切 断 工 m     4.8     5.4     5.8       トラッククレーン賃料 日     0.55     0.60     0.61			5.8     6.4     7.0     7.4     8.0     9.2       0.65     0.70     0.75     0.80     0.90     1.00
		備考 小口径泥土圧の適用はφ250~φ500		クレーン装置付トラック運転費 日 0.55	
104	適用拡大 による改 定	3. 単価表 (1) 坑口工 D-53-1 坑口工 (○○○○推進)		3. 単価表 (2) 坑口エ D-53-1 坑口エ (○○○○推進)	
		44 F W J J J J J J J J J J J J J J J J J J	(1箇所当り)	種 目 形状寸法 単位 数量	(1箇所当り) 単価(円) 金額(円) 摘 要
		種目     形状寸法     単位     数量       土木一般世話役     人	★ 単価(円) 金額(円) 摘 要 <b>麦</b> -53-3	土木一般世話役	事順(門) 並與(門) 胸 安
		溶接工人	表-53-3	浴接工人	表-53-3
		普 通 作 業 員 人	表-53-1~3	普 通 作 業 員 人	表-53-1~3
		止 水 器 組 1		止 水 器 組 1	表-53-1~3
		鋼材溶接工 m	E-53-1, 表-53-1~3	鋼材溶接工m	E-53-1, 表-53-1~3
		鋼材切断工 m	E-53-2, 表-53-1~3	鋼材切断工m	E-53-2, 表-53-1~3
		トラッククレーン 賃料 4.9 t 吊	表-53-1	トラッククレーン 賃料	表-53-1
		クレーン装置付 トラック運転費     4 t 級, 2.9t 吊	表-53-2~3 単位が時間の場合:機-1 単位が日の場合:機-18	クレーン装置付トラック運転費     4~4.5 t 級, 2.9t 吊	表-53-1~3 単位が時間の場合:機-1 単位が日の場合:機-18
1		諸 雑 費 式 1	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	諸 雑 費 式 1	端数処理
		計		at-	
155		備考 坑口工は、立坑内への土砂等の流入を防止するために設置。 なお、取付管ボーリング (一重ケーシング) を除き 1 推進D (4) 機械運転単価表		備考 坑口工は、立坑内への土砂等の流入を防止するために設置すなお、取付管ボーリング(一重ケーシング)を除き1推進区 (4) 機械運転単価表	
	機械指定	機械名    規 格	適用単価表 指 定 事 項	機械名    規格	適用単価表 指 定 事 項
	事項の変更	クレーン装置付トラック 4 t 級, 2.9 t 吊	運転労務数量→1.00 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2	クレーン装置付トラック 4~4.5 t 級, 2.9 t 吊	運転労務数量→1.00 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2

	下水道用設計標準歩掛表の一部改定	第1巻 管路	工種名	管路施設(推進工法)	
頁 改定趣旨	現	行	1	改	定
百   改定趣旨   157   適度   157	現 (2) 小口径泥土圧	<b>行 り延長表</b> (1箇所当り) 400 450 500 3.2 3.5 3.8	工種名 (2) 小口径泥	されて	定 (1箇所当り) 0 500 600 700 5 3.8 4.2 4.8

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路 管路施設(管きょ更生工法) 工種名 頁 改定趣旨 行 改 定 400 施工歩掛 4. 編成人員 追加 4. 編成人員 注入口取付工の編成人員は、次表を標準とする。 の改定 表-152-1 注入口取付工の編成人員 (1回当り) 編成人員(人) 土木一般世話役 普 通 作 業 員 250 0.05 0.15 300 0.05 0.16 350 0.06 0.18 400 0.06 0.19 450 0.07 0.21 500 0.08 0.23 600 0.10 0.30 700 0.14 0.43 6. 単価表 401 表記の修 5. 単価表 (1) 注入口取付工 (1) 注入口取付工 正 D-152-1 注入口取付工 [DGD32050] D-152-1 注入口取付工 [DGD32050] (1回当り) (1回当り) 種 目 形状寸法 単位 数量 単価 (円) 金額(円) 摘 要 種 目 形状寸法 単位 数量 単価(円) 金額(円) 粘 土 モ ル タ ル 配合1:1 t=5cm 粘 土 モ ル タ ル 配合1:1 t=5cm  $m^3$ 土木一般世話役 0.09 表-152-1 人 土木一般世話役 0.09 人 普通作業員 人 0.27表-152-1 普 通 作 業 員 0.27 人 注入口損料 組 1 E-152-1 注入口損料 E-152-1 組 1 雑 費 式 1 端数処理 諸 式 端数処理 雑 計 計 備考 1回当りの作業内容は、スパン両端部の間詰めと注入口の取り付けとする。 備考 1回当りの作業内容は、スパン両端部の間詰めと注入口の取り付けとする。

		下水道用設計標準歩掛	表の一部	改定第二	1巻 管路	各	工種名	管路施設 (管	きょ更	生工法	去)		
頁	改定趣旨				行		·	改				定	
	施工歩掛 の改定	E-152-1 注入口損料				【DGD32070】 (1 組当り)	E-152-1 注入	口損料					【DGD32070】 (1 組当り)
		種 目 形状寸法	単位数	量 単価 (円)	金額 (円)	摘 要	種目	形状寸法	単位	数量	単価 (円)	金額 (円)	摘 要
		塩 ビ パ イ プ 一般管 VP φ 50 mm	m	Į.			【注入用						
		塩 ビ エ ル ボ TS継手 φ50 mm 90°	個	2			塩 ビ パ イ	ф 50 mm	m	4			
		塩ビバルブソケット TS継手	個	2			塩ビエル	ボ TS 継手 φ50 mm 90°	個	2			
		#H			(A)		塩ビバルブソケッ	TS 継手 <sub>ク</sub> 50mm	個	2			
		注 入 ホ ー ス 高圧ホース	本	ļ.			塩ビボールバル		個	2			
		圧 カ ゲ ー ジ プ ロ テ ク タ ー	個				【エア抜き用						
		E カ ゲ ー ジ 圧力計 0.10Mpa	個				塩 ビ パ イ	φ 13mm	m	4			
		青銅製管端コア					塩ビエル	ボ TS 継手 φ13mm 90°	個	2			
		ボ ー ル バ ル ブ 10K ねじ込み	個	2			塩ビボールバル	ブ φ13mm	個	1			
		τ τ υ τ φ50 mm	個:	2			함	高圧ホース				(A)	
		計 計			(b)	20 回使用	注入ホー	φ 50 mm 20 m	本	1			
		1 回 当 り			(B = b		E カ ゲ ー プ ロ テ ク タ	-	個	1			
		合 計			/20) (A+B)		圧 カ ゲ ー	ジ 圧 力計 0.10Mpa φ100 mm 1.6級	個	1			
					1			青銅製管端コア 付きバルブ					
							# <del>- ルバル</del>	フ 10K ねじ込み + 50 mm	個	2			
							カムロッ	4 50 mm	個	2			
							T 字	管 径違いチーズ φ50mm	個	2			
							ニップ	φ 50mm  ν φ 50mm	個	2			
							計					(b)	20 回使用
							1 回 当	ŋ				(B = b /20)	
							合	計					
												,	

頁 改定趣旨 402 表記の修 正	現		1巻 管路	各	工種名	管路施設(管	きよ男	生工法	도)			
		1	行			改				定		
	(2) 浮上防止工 D-152-2 浮上防止工			【DGD32080】 (1m当り)	(2) 浮上防止: D-152-2 浮							GD32080】 (1m当り)
	種 目 形状寸法	単位 数量 単価(円)	金額 (円)	摘要	種目	形状寸法	単位	数量	単価 (円)	金額 (円)	摘	要
	土木一般世話役	人 1	1		土木一般世		人	1				
	特 殊 作 業 員	人 2			特 殊 作 業		人	2		i		
	普通作業員	人 3	į		普通作業	員	人	3				
	ト ラ ッ ク 運 転 (クレーン装置付) 4t級 2.9t	日 1			(クレーン装置	E 転 付) 4~4.5 t級 2.9 t	日	1				
	ウィンチ損料 2.2kW	月 1			ウィンチ	料 2.2kW	日	1				
	諸 雑 費	式 1		備考	諸 雑	費	式	1			備考	
	計			1日当り	計						1 日当り	
	1 m 当 り		į	計/210m	1 m 当	り				i	計/210m	
	備考 諸維費(は止水栓,発動発電機質料等の) 限として計上する。 (3) 注入工 D-152-3 注入工	<b>(</b> ЛГСФУ), <b>Л3</b> У <b>Д</b> ∨ С п вис±вирж	Rジ物 - 2 /0, 「以自	【DGD32090】 (1m <sup>3</sup> 当り)	限として計 (3) 注入工 D-152-3 注		(/II C 0/ 9 )	<i>J</i> 1377 € √ 2		未 <i>い</i> 物 ロ	<b>(</b> D	GD32090】 1m <sup>3</sup> 当り)
	種 目 形状寸法	単位 数量 単価(円)	金額 (円)	摘 要	種目	形状寸法	単位	数量	単価 (円)	金額 (円)	摘	要
	裏 込 材	m³ 2.8	:		裏 込	材	m <sup>3</sup>	2.8		1		
	土木一般世話役	人 1	<u> </u>		土木一般世	話 役	人	1		1		
	特 殊 作 業 員	人 2			特 殊 作 業	員	人	2				
	普 通 作 業 員	人 3			普 通 作 業	員	人	3				
	ト ラ ッ ク 運 転 (クレーン装置付) 4t級 2.9t	FI 1			ト ラ ッ ク :	E 転 4~4.5 t級 2.9 t	B	1				
	給 水 車 運 転 4 t 121kW	F 1	į		給 水 車 選		日	1				
	発 動 発 電 機 運 転 排出ガス対策型 60kVA	FI 1			発 動 発 電 機	運 転 排出ガス対策型 60kVA	B	1				
	自動注入装置損料	F 1	į		自動注入装置		日	1		İ		
	諸 雑 費	式 1	•	端数処理	諸 雑	費	式	1			端数処理	
	計			1日当り	<del>  </del>						1日当り	
	1 m³ 当 り		-	計/2.8m³	1 m <sup>3</sup> 当	ŋ					計/2.8m <sup>3</sup>	

		下水道用設計標準歩掛表の一部改定	第1巻 管路	工種名	管路施設(管きょ更生工法)		
頁	改定趣旨	現	行		改	定	
402	機械指定	(4) 機械運転単価表		(4) 機械運	<b>坛単価表</b>		
	事項の変	機械名  規格	適用単価表 指 定 事 項	機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
	更	ト ラ ッ ク クレーン装置付 4 t級 2.9 t	運転労務数量→1 機-18 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2	トラッ	クレーン装置付 4~4.5 t級 2.9 t	機-18	運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2
		給 水 車 4 t 121 kW	運転労務数量→1 機-19 燃料消費量→19 機械損料数量→1.6	給水		機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→ <del>1921</del> 機械損料数量→1.6
		発 動 発 電 機       ボィーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値) 60 kVA	機-16 燃料消費量→42 機械賃料数量→1.2	発 動 発 電	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型 (第1次基準値) 60 kVA	機-16	燃料消费量→42 機械賃料数量→1.2

\_

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路 工種名 管路施設(管きょ更生工法) 頁 改定趣旨 行 改 定 403 施工歩掛 3. 編成人員 追加 3. 編成人員 本管口仕上工の編成人員は、次表を標準とする。 の改定 表-153-1 本管口仕上工の編成人員 編成人員(人) 既設管径 土木一般世話役 特殊作業員 普通作業員 (mm) 250 0.06 0.12 0.12 300 0.06 0.13 0.13 350 0.07 0.13 0.13 0.07 0.14 400 0.14 450 0.08 0.17 0.17 500 0.09 0.18 0.18 600 0.11 0.22 0.22 700 0.14 0.29 0.29 表記の修 4. 単価表 5. 単価表 (1) 本管口仕上工 (1) 本管口仕上工 D-153-1 本管口仕上工 [DGD32120] D-153-1 本管口仕上工 [DGD32120] (1 簡所当り) (1箇所当り) 種 目 形状寸法 単位 数量 単価(円) 金額(円) 摘 要 種 目 形状寸法 単位 数量 単価 (円) 金額(円) 摘 要 モ ル タ ル 配合1:2 t=5cm  $m^3$ モ ル タ ル 配合1:2 t=5cm 土木一般世話役 人 0.13 0.13 表-153-1 土木一般世話役 人 特 殊 作 業 員 人 0.25 特殊作業員 人 0.25表-153-1 普 通 作 業 員 0.25 人 表-153-1 普通作業員 人 0.25諸 雑 費 式 1 端数処理 雑 費 式 1 端数処理 計 計



## 下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路 管路施設(管きょ更生工法) 工種名 行 改 定 改定趣旨 407 表記の修 5. 単価表 5. 単価表 (1) 仮設備設置・撤去工 (1) 仮設備設置・撤去工 正 D-154-1 仮設備設置・撤去工 [DGD32180] D-154-1 仮設備設置・撤去工 [DGD32180] (1 同当り) (1回当り) 種 目 形状寸法 単位 数量 単価 (円) 金額(円) 摘 要 種 目 形状寸法 単位 数量 単価 (円) 金額(円) 摘 要 土木一般世話役 人 1 土木一般世話役 人 1 特殊作業員 人 2 特殊作業員 A. 2 普 诵 作 業 員 3 人 普 诵 作 業 員 A. 3 トラック運転 トラック運転 4~4.5 t級 2.9 4 t級 2.9 t H 1 H (クレーン装置付) (クレーン装置付) 式 備考 諸 雑 1 雑 費 式 1 備考 計 1日当り 計 1日当り 設置:計/4回 設置:計/1 日当り仮設備 1 回 当 り 撤去:計/5回 設置回数 1 回 当 り 備考 諸雑費はドラム受台損料,防水服,グリス,ウェス等の費用であり、労務費の合計額に昼間作業の場合2%,夜間作業の場合1%を 撤去:計/1 日当り仮設備 乗じた金額を上限として計上する。 撤去回数 備考 諸雑費はドラム受台損料,防水服,グリス,ウェス等の費用であり,労務費の合計額に昼間作業の場合2%,夜間作業の場合1%を 乗じた金額を上限として計上する。 (2) 仮製管工 (2) 仮製管工 D-154-2 仮製管工 [DGD32190] [DGD32190] D-154-2 仮製管工 (1回当り) (1回当り) 種 目 形状寸法 単位 数量 単価 (円) 金額(円) 摘 要 種 目 形状寸法 単位 数量 単価 (円) 金額(円) 摘 要 土木一般世話役 人 0.06 土木一般世話役 人 0.06 特 殊 作 業 員 人 0.12 特殊作業員 人 0.12 普 通 作 業 員 人 0.18 普 通 作 業 員 0.18 人 排出ガス対策型 排出ガス対策型 日 発動発電機運転 日 0.06 表-154-2 発動発電機運転 0.06 表-154-2 ○○kVA 45kVA # 備考 式 備考 諸 1 諸 雑 費 1 雑 費 備考 諸雑費はドラム受台、油圧ホース及び電源ケーブル等の損料であり、労務費の合計額に昼間作業の場合17%、夜間作業の場合11% 備考 諸雑費はドラム受台、油圧ホース及び電源ケーブル等の損料であり、労務費の合計額に昼間作業の場合17%、夜間作業の場合11% を乗じた金額を上限として計上する。 を乗じた金額を上限として計上する。 (3) 製管機搬入組立工 (3) 製管機搬入組立工 D-154-3 製管機搬入組立工 [DGD32200] D-154-3 製管機搬入組立工 [DGD32200] (1回当り) (1回当り) 単位 数量 単価(円) 金額(円) 種 目 形状寸法 単位 数量 単価 (円) 金額(円) 摘 要 種 目 形状寸法 摘 要 人 土木一般世話役 人 土木一般世話役 1 特殊作業員 人 2 特殊作業員 人 2 普 通 作 業 員 人 2 普 通 作 業 員 人 2 トラック運転 トラック運転 4~4.5 t級 2.9 4 t 級 2.9 t 日 1 В (クレーン装置付) (クレーン装置付) 法 雑 費 式 1 端数処理 端数処理 諸 式 雑 費 1

計

回 当

ŋ

1日当り

計/4回

1日当り

計/4回

計

1 回 当 り

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路 管路施設(管きょ更生工法) 工種名 頁 改定趣旨 行 定 改 408 表記の修 (4) 製管機分解搬出工 (4) 製管機分解機出工 D-154-4 製管機分解搬出工 [DGD32210] D-154-4 製管機分解搬出工 [DGD32210] ΤË (1回当り) (1回当り) 種 目 形状寸法 単位 数量 単価(円) 金額(円) 摘 要 種 目 形状寸法 単位 数量 単価 (円) 金額(円) 摘 要 土木一般世話役 人 土木一般世話役 人 2 特殊作業員 人 特殊作業員 人 2 普通作業員 人 2 普 通 作 業 員 人 2 トラック運転 トラック運転 4~4.5 t級 2.9 4 t 級 2.9 t 日 1 (クレーン装置付) (クレーン装置付) 雑 式 1 端数処理 雑 費 式 1 端数処理 計 1日当り 計 1日当り 計/5回 1 回 当 り 計/5回 1 回 当 ŋ (5) 機械運転単価表 (5) 機械運転単価表 機械名 規 格 適用単価表 指 定 事 項 機械名 適用単価表 指 定 事 項 運転労務数量→1 クレーン装置付 トラッ 運転労務数量→1 機-18 燃料消費量→31 4~4.5 t級 2.9 t クレーン装置付 機械損料数量→1.2 トラック 機-18 燃料消費量→31 4 t級 2.9 t 機械損料数量→1.2 ディーゼルエンジン駆動 燃料消費量→31 ディーゼルエンジン駆動 発 動 発 電 機 排出ガス対策型 (第1次基準値) 機-16 燃料消費量→31 機械賃料数量→1.2 排出ガス対策型 (第1次基準値) 45 kVA 機-16 機械賃料数量→1.2 45 kVA 発 動 発 電 機 ディーゼルエンジン駆動 燃料消費量→42 排出ガス対策型 (第1次基準値) 機-16 機械賃料数量→1.2 60 kVA

改定趣旨	現	行	改	定
幾械指定 <b>2.</b>	2. 単価表		2. 単価表	· -
事項の変	(2) 機械運転単価表 機 械 名 規 格	適用単価表 指 定 事 項	(2) 機械運転単価表 機 械 名 規 格	適用単価表 指 定 事 項
更	ディーゼルエンジン駆動・ 発 動 発 電 機 排出ガス対策型(第1次基準値)	機-16 燃料消費量→17 機械質料数量→1.2	ディーゼルエンジン駆動・ 発 動 発 電 機 排出ガス対策型 (第1次基準値)	機-16 燃料消費量→ <del>17</del> 15 機械質料数量→1.2
	25kVA	10人10人只有1.0人至 1.0	25kVA	10x 10x 9x 111 3x 2x 11.2

			下水道用設	計標準を	長掛表の一部	邓改定	第1巻	管路		工種	名	管路加	施設 (	立坑)		
	改定趣旨			:	現		行	:					Ī	改	定	
437	機械指定 事項の変	(2)	機械運転単価表	<i>n</i>	+=	44	****	#5 ph =	-72	(2)	機械運転		,	+0 44	***	* b = 4
	更		機 械 ト ラ (クレーン a)		<b>規</b> 4 t 級,2.9 t 吊	格	適用単価表機-18	指 定 事 運転労務数量→1.00 燃料消費量→31 機械損料数量→1.23	- 現		ŀ	<b>機械を</b> ラッツ アーン装す	ク	規 格4 t級, 2.9 t 吊	適用単価表 機-18	指 定 事 項 運転労務数量→1.00 燃料消費量→31 機械損料数量→1.23
			バック		クローラ型 排出ガス対策型(st (山積/平積)0.4		機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→54 機械損料数量→1.64			バッ	<i>ッ</i> ク )		クローラ型 排出ガス対策型(第 1 次基準値) (山積/平積)0.45/0.35m³	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5450 機械損料数量→1.641.50
			ク ラ ム シ	ノ エ ル	油圧クラムシェル 平積 0.4m³	テレスコピック式	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→96 機械損料数量→1.60			ク ラ	ムシ	ェル	油圧クラムシェル テレスコピック式 平積 0.4m³	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→96 機械損料数量→1.60

		下水道用設計標準	準歩掛表の一部改定	第1巻	管路		工種名	管路	各施設	(市場単価)				
頁	改定趣旨		現	彳	亍					改	定			
477	補正係数 の変更	2. 市場単価の補正係数 週休2日の補正の種類によ	いり,市場単価に乗じる週休2日	の補正係数に	は次表を標準	<b>とする。</b>	<b>2. 市場単価の</b> 週休2日の			,市場単価に乗じる週休2日の補正	係数は次	表を標準	とする。	
			表 2.1 補正係	数						表 2.1 補正係数				
					補正係数								係数	
		名 称	規格・仕様	4週6休		1 H 0 H	4	名 称		規格・仕様		閉所		弋制
		1	观俗•11/球	以上、 4週7休	以上、 4週8休	4週8休 以上	TE 所 45 //。	18 - 2 5	*=n == =		通期	月単位	通期	月単位
				未満	未満	<u> </u>	硬質塩化 リブ付硬質				1.01	1.02 1.02	1.01	1.02
		硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03	砂基			人力施工	1.01	1.02	1.01	1.04
		リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03	砂基				1.02	1.04	1.02	1.04
			人力施工	1.01	1.03	1.05	砕 石				1.02	1.04	1.02	1.04
			機械施工	1.01	1.03	1.05	砕 石				1.02	1.04	1.02	1.04
		砕     石     基     礎     工       砕     石     基     礎     工	人力施工 機械施工	1.01	1.03	1.05	組立マン				1.02	1.03	1.01	1.03
		組立マンホール設置工		1.01 1.01	1.03 1.03	1.05	小型マ				1.00	1.01	1.00	1.01
		小型マンホールエ		1.00	1.00	1.01				ます設置工	1.00	1.01	1.00	1.01
		取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.01	取付官お	よひます	F 設 直 上	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.02	1.01	1.02
			取付管布設及び支管取付工	1.00	1.01	1.02								